

平成20年度第1回登録販売者試験問題

茨城県

(平成20年8月12日午後)

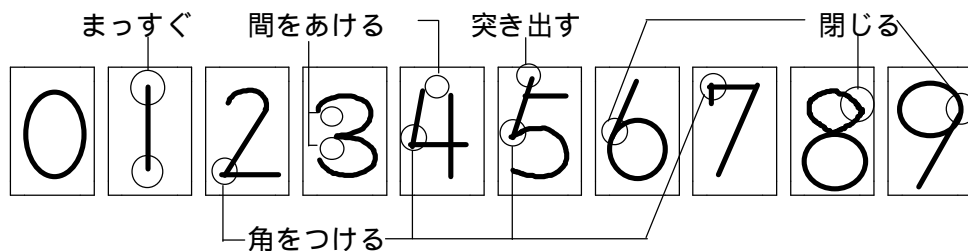
分野		出題数	試験時間
1	主な医薬品とその作用(40問)	60問	120分
2	医薬品の適正使用と安全対策(20問)		

指示があるまで開いてはいけません。

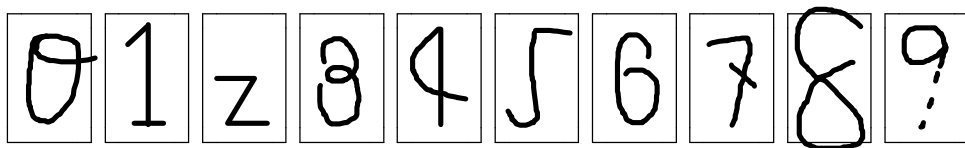
注意事項

- 1 試験問題は問61から問120までの60問で、解答はすべて解答用紙に記入すること。数字以外での解答や、1つの解答欄に複数解答した場合、その箇所は無効とする。
- 2 不正行為を行った者や他の受験者の迷惑となる行為を行った者は、試験を無効とし又は合格を取り消すことがある。
- 3 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしないこと。また、誤って記入した場合は、消し跡が残らないように消しゴムで完全に消し、消しくずをよく払っておくこと。
- 4 退場する時は、解答用紙を裏返して机の上に置き、係員の指示に従うこと。
- 5 この問題用紙は持ち帰ることができる。

正しい数字の記入例



悪い例 (くせ字、飾り字、はみだし、小さい文字、かすれ、よごれ等)



数字は丁寧に記入してください。

主な医薬品とその作用（40問）

【問61】 強心成分を持つ生薬に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a センソは、フタバガキ科のリウノウジュの樹幹の空隙に析出する精油の結晶を用いた生薬である。
- b ジャコウは、ヒキガエル科のシナヒキガエル又はヘリグロヒキガエルの毒腺の分泌物を集めた生薬である。
- c ゴオウは、ウシ科のウシの胆嚢中に生じた結石を用いた生薬である。
- d ロクジョウは、シカ科のシベリアジカ、マンシュウアカジカ等の雄の幼角を用いた生薬である。

1 (a, b) 2 (a, d) 3 (b, c) 4 (c, d)

【問62】 高コレステロール改善薬及びコレステロールの機能に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ビタミンB2は過酸化脂質と結合し、その代謝を促す作用を期待して配合される。
- b パンテチンは、低密度リポ蛋白質の分解を促し、高密度リポ蛋白質を増加させる効果を期待して用いられる。
- c 低密度リポ蛋白質は末梢組織のコレステロールを取り込んで肝臓へと運び、高密度リポ蛋白質はコレステロールを肝臓から末梢組織へと運ぶ。
- d コレステロールは水に溶けやすい物質である。

1 (a, b) 2 (a, c) 3 (b, d) 4 (c, d)

【問63】 口腔咽喉薬・含嗽薬の一般的な注意事項に関する記述として、正しいものはどれか。

- 1 トローチ剤やドロップ剤は、有効成分が口腔内や咽頭部にすぐに行き渡るよう、口中で噛み砕いてすぐに溶かすようにして使用することが重要である。
- 2 含嗽薬は、用時水で希釈又は溶解して使用するものが多いが、調製する濃度を濃くしたほうが十分な効果が得られる。
- 3 口腔咽喉薬の噴射式液剤では、息を吸いながら噴射することが望ましい。
- 4 口腔咽喉薬は、成分の一部が口腔や咽頭の粘膜から吸収されて循環血流中に入りやすく、全身的な影響を生じることがあるため、配合成分によっては注意を要する場合がある。

【問64】 次の症状に用いられる漢方処方製剤として、最も適切なものはどれか。

くしゃみや鼻汁・鼻閉（鼻づまり）等の鼻炎症状、薄い水様の痰を伴う咳、気管支炎、気管支喘息等の呼吸器症状に適すとされるが、体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）、胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人では、悪心、胃部不快感等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

まれに重篤な副作用として、肝機能障害、間質性肺炎を生じることが知られている。

- 1 麻黄湯 2 小青竜湯 3 桔梗湯 4 大黃甘草湯

【問65】 解熱鎮痛薬に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a サリチル酸系解熱鎮痛薬の解熱作用は、体温調節を正常に近い状態に戻すことにより熱を下げる。
- b サリチル酸系解熱鎮痛薬の鎮痛作用は、痙攣性の内臓痛に対しても効果が期待できる。
- c サリチル酸系解熱鎮痛薬は生理痛（月経痛）に対する鎮痛効果を有するが、これは月経そのものが起こる過程でプロスタグランジンが関与しているためである。
- d サリチル酸系解熱鎮痛薬には、エテンザミド、アセトアミノフェン、イブプロフェンなどがある。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	正	正

【問 6 6】

32歳男性が、発熱、咳、くしゃみ、鼻水と激しい喉の痛みの症状を訴え、次の鎮咳去痰薬を購入しようとしている。発熱は38.5のこと。3日ほど前から発熱とせき、くしゃみが現れたため、一般用医薬品の総合感冒薬を服用していたが、その後、鼻水と激しい喉の痛みが現れてきたという。男性は、鶏卵と牛乳に対してアレルギーがあるが、過去にいくつかの総合感冒薬や鎮咳去痰薬を服用しても、アレルギー症状を起こしたことはないという。

このような場面で、登録販売者として購入者にアドバイスを行う上で、最も適切なものはどれか。

成分 30ml中	
dI 塩酸メチルエフェドリン	75mg
リン酸ジヒドロコデイン	30mg
マレイン酸クロルフェニラミン	12mg
塩化リゾチーム（力価）	60mg
キキョウ流エキス	0.5ml
カフェイン	62mg

- 1 男性には一部の食物に対するアレルギーがあるが、過去に同様の総合感冒薬や鎮咳去痰薬の使用によりアレルギー症状も発生していないことから、この医薬品と現在使用している総合感冒薬を併用して様子を見るよう勧めた。
- 2 症状からかぜと判断されるが発熱と激しい喉の痛みを訴えていることから、鎮咳去痰薬ではなく解熱鎮痛薬の購入を勧め、解熱鎮痛薬と現在使用している総合感冒薬を併用して様子を見るよう勧めた。
- 3 症状からかぜ様の症状と判断されるが、高い発熱と激しい喉の痛みを訴えていることから、インフルエンザなどのウイルス感染なども考えられるため、一般用医薬品による自己治療を行うのではなく、医療機関を受診するよう勧めた。
- 4 購入しようとしている医薬品には解熱鎮痛作用を有する成分が入っていないため、この医薬品の他に解熱鎮痛薬の購入を勧めた。

【問 6 7】 アスピリンに関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 代表的な副作用に胃腸障害がある。
- b アスピリンはピリン系の解熱鎮痛薬である。
- c 血液を凝固しにくくさせる作用がある。
- d 肝機能障害を生じることがある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	正	正

【問68】 次の症状に用いられる漢方処方製剤として、最も適切なものはどれか。

痩せ型で腹部筋肉が弛緩する傾向にあり、胃痛又は腹痛があって、ときに胸やけ、げっぷ、食欲不振、吐き気などを伴う人における、神経性胃炎、慢性胃炎、胃アトニーに適するとされる。

まれに、重篤な副作用として、肝機能障害を生じることが知られている。

- 1 半夏厚朴湯 2 安中散 3 芍薬甘草湯 4 麦門冬湯

【問69】 駆虫薬に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品の駆虫薬が対象とする寄生虫は、回虫及び条虫である。
- b 腸管内に生息する虫体にのみ作用し、虫卵や腸管内以外に潜伏した幼虫（回虫の場合）には駆虫作用が及ばない。
- c 複数の駆虫薬を併用すると効果的である。
- d 消化管からの吸収による全身作用（頭痛、めまい等の副作用）を防ぐため、空腹時に服用するものが多い。

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

【問70】 催眠鎮静薬とその成分に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 生薬成分のみからなる鎮静薬であれば、複数の鎮静薬の併用や、長期連用をしてもよい。
- b アリルイソプロピルアセチル尿素を含有する催眠鎮静薬を服用する場合、その効き目や副作用が増強されるおそれがあるため、飲酒を避ける必要がある。
- c プロムワレリル尿素を含む催眠鎮静薬は、妊婦の睡眠障害に適している。
- d プロムワレリル尿素は、反復して摂取すると依存を生じるおそれがある。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |

【問7 1】 次の表は、あるかぜ薬に含まれている成分の一覧である。

6錠中		
イブプロフェン	450mg	
マレイン酸クロルフェニラミン		7.5mg
dI 塩酸メチルエフェドリン	60mg	
リン酸ジヒドロコデイン	24mg	
無水カフェイン	75mg	
ヘスペリジン	90mg	

このかぜ薬に含まれる成分の作用及び留意点について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a イブプロフェンは、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎又はクローン氏病の既往歴がある人では、それらの疾患の再発を招くおそれがある。
- b マレイン酸クロルフェニラミンは、くしゃみや鼻汁を抑える目的で配合されている。
- c 無水カフェインは、抗ヒスタミン成分の作用による眠気を解消する目的で配合されている。
- d ヘスペリジンは、気道粘膜の線毛運動を促進させて痰の排出を容易にさせる。

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

【問7 2】 カフェインの効能効果に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

カフェインは、脳に軽い(a)状態を引き起こす作用を示し、眠気や倦怠感を一時的に抑える効果がある。

また、胃液の分泌を(b)させる作用や心筋を(c)させる作用があるため、胃潰瘍の診断を受けた人や心臓病の診断を受けた人は、服用を避ける必要がある。

	a	b	c
1	興奮	低下	抑制
2	興奮	亢進	興奮
3	抑制	低下	興奮
4	抑制	亢進	抑制

【問73】 止瀉薬と止瀉成分についての注意事項に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 急性の激しい下痢又は腹痛・腹部膨満・吐き気等の症状を伴う人では、細菌性の下痢や食中毒が疑われるため、収斂成分を主体とする止瀉薬を使用することが望ましいとされている。
- 2 塩酸ロペラミドが配合された止瀉薬は、食あたりや水あたりによる下痢が適用対象である。
- 3 タンニン酸アルブミンに含まれるアルブミンは、卵に含まれるカゼインから精製された成分であるため、卵にアレルギーがある人では使用を避ける必要がある。
- 4 次没食子酸ビスマス等のビスマスを含む成分は、循環血液中に移行したビスマスが胎盤関門を通過することが知られており、妊婦又は妊娠していると思われる女性では使用を避けることが望ましい。

【問74】 瀉下薬に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 酸化マグネシウムは、腸内容物の浸透圧を高めることにより糞便中の水分量を増し、排便を促す。
- b ヒマシ油は、防虫剤や殺鼠剤を誤って飲み込んだ場合のような脂溶性の物質による中毒に効果的である。
- c センナが配合された瀉下薬は、腸の急激な動きに刺激されて流産・早産を誘発するおそれがあるため、妊婦には使用を避けることが望ましい。
- d ピコスルファートナトリウムは、胃や小腸では分解されないが、大腸に生息する腸内細菌によって分解されて、大腸への刺激作用を示す。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	正

【問75】カンゾウ及びカンゾウを含む医薬品に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a カンゾウの主要成分であるアスパラギン酸には、抗炎症作用のほか、気道粘膜からの分泌を促す作用がある。
- b 甘草湯は、激しい咳や咽喉痛の緩解に用いられ、長期間服用することが望ましい。
- c カンゾウを大量に摂取すると偽アルドステロン症を起こす可能性があり、高齢者、むくみのある人、心臓病、腎臓病又は高血圧の診断を受けた人ではそのリスクが高い。
- d カンゾウは、かぜ薬や鎮咳去痰薬以外の医薬品にも配合されていることが少なくなく、また、甘味料として一般食品等にも広く用いられる。

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

【問76】鎮暈薬に含まれる成分に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 塩酸ジフェニドールは、内耳にある前庭と脳を結ぶ神経の調節作用のほか、内耳への血流を改善する作用がある。
- b ジメンヒドリナートは、延髄にある嘔吐中枢への刺激や内耳の前庭における自律神経反射を抑える作用がある。
- c 臭化水素酸スコポラミンは、中枢に作用して自律神経系の働きを活発にする作用がある。
- d ジプロフィリンは、胃粘膜の麻酔作用によって嘔吐刺激を和らげ、乗り物酔いに伴う吐き気を抑える作用がある。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

【問77】胃腸薬に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 制酸成分を主体とする胃腸薬は、酸度の高い食品と一緒に使用すると胃酸に対する中和作用が低下することがある。
- b 生薬成分の配合された健胃薬の味や香りが強く飲みづらいときは、オブラートに包んで服用するとよい。
- c 健胃薬、消化薬、整腸薬又はそれらの目的を併せ持つものには、医薬部外品として製造販売されている製品がある。
- d 過剰な胃液の分泌を抑えることを目的として、胃腸薬にアセチルコリンの働きを活発にする成分が配合されることがある。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

【問78】 胃腸薬に含まれる成分の注意事項に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 塩酸ピレンゼピンは、排尿困難の症状がある人や緑内障の診断を受けた人では、症状の悪化を招くおそれがある。
- b スクラルファートは、アルミニウムを含む成分であるため、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。
- c ウルソデオキシコール酸は、胎児毒性の可能性がないため、妊婦又は妊娠していると思われる女性でも使用を避ける必要はない。
- d 塩酸パペリンには、眼圧を上昇させる作用があるため、緑内障の診断を受けた人では症状の悪化を招くおそれがある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正

【問79】 リン酸コデインに関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 延髄の咳^{ずい}嗽^{がいそう}中枢に作用して、咳^{せき}を抑える働きがある。
- b 長期連用や大量摂取により、薬物依存につながるおそれはない。
- c 妊娠中に摂取された場合、吸収された成分の一部が胎盤関門を通過して胎児へ移行することがある。
- d 胃腸の運動を低下させる作用があり、副作用として便秘が現れることがある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	誤	誤	誤	正

【問 8 0】 鎮咳去痰薬として用いられる医薬品成分に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 塩酸エチルシステインは、痰の中の粘性蛋白質に作用してその粘りけを減少させることにより痰の切れを良くする。
- b 塩酸ノスカピンは、気管支平滑筋に直接作用して弛緩させることにより気管支を広げ、鎮咳作用を発現する。
- c 塩酸トリメトキノールは、交感神経系を刺激し、気管支を拡張させることにより咳や喘息の症状を鎮める。
- d 臭化水素酸デキストロメトルファンは、気道粘膜からの分泌を促進させることにより痰の切れを良くする。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

【問 8 1】 次の記述は痔疾用薬の配合成分の効能効果に関するものである。これらの効能効果を持つ痔疾用薬の成分の分類名について、正しい組み合わせはどれか。

- a リドカイン、塩酸プロカインは、皮膚や粘膜などの局所に適用されると、周辺の知覚神経に作用して刺激の伝達を可逆的に遮断することで、痛み・痒みを和らげることを目的に使う。
- b 酢酸ヒドロコルチゾン、酢酸プレドニゾロンは、肛門部の炎症や痒みを和らげる目的に使う。
- c アラントイン、アルクロキサは、肛門部の創傷の治癒を促す効果を期待して使う。
- d 塩酸クロールヘキシジン、塩化ベンザルコニウムは、局所の感染を防止することを目的に使う。

	a	b	c	d
1	抗炎症成分	鎮痒成分	組織修復成分	局所麻酔成分
2	局所麻酔成分	鎮痒成分	止血成分	殺菌消毒成分
3	殺菌消毒成分	抗炎症成分	止血成分	鎮痒成分
4	局所麻酔成分	抗炎症成分	組織修復成分	殺菌消毒成分

【問 8 2】 次の泌尿器用薬の成分のうち、経口的に摂取した後、尿中に排出される分解代謝物が抗菌作用を示し、尿路の殺菌消毒効果を有している成分として、正しいものはどれか。

- 1 カゴソウ
- 2 ウワウルシ
- 3 ブクリョウ
- 4 モクツウ

【問 8 3】 婦人薬の適用対象となる体質・症状に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 血の道症とは、臓器・組織の形態的異常がなく、抑鬱^{うつ}や寝つきが悪くなる、神経質、集中力の低下等の精神神経症状が現れる病態を指す。
- b 月経不順は、卵巣機能の不全による場合もあるが、過度のストレスや、不適切なダイエット等による栄養摂取の偏りによって起こることがある。
- c 月経の約 10～3 日前に現れ、月経開始と共に消失する腹部膨満感や頭痛などの身体症状や抑鬱^{うつ}などの精神症状を主体とするものを、月経前症候群という。
- d 妊娠可能な期間が終了する閉経の前後には更年期があり、その時期は体内の女性ホルモンの量がまったく変わらない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	正

【問 8 4】 女性の月経や更年期障害に伴う諸症状の緩和に用いられる漢方処方製剤に関する次の記述について、最も適切なものはどれか。

虚弱体質で肩がこり、疲れやすく、精神不安等の精神神経症状、ときに便秘の傾向のある女性における冷え性、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症に適すとされる。胃腸の弱い人では悪心（吐き気）、下痢等の副作用が現れやすいため不向きとされる。

- 1 桂枝茯苓丸^{けいしふくりょうがん}
- 2 葛根湯加川芎辛夷^{かっこんとうかせんきゅうしんい}
- 3 加味逍遙散^{かみせうようさん}
- 4 十味敗毒湯^{じゅうみはいどくとう}

【問 8 5】 次の記述のうち、抗ヒスタミン成分であるジフェンヒドラミンを含むアレルギー用薬を使用する際に注意すべきことの正誤として、正しい組み合わせはどれか。

- a 抗コリン作用も示すため、排尿困難、口渇、便秘の副作用が現れることがある。
- b ジフェンヒドラミンの一部が乳汁に移行して、乳児に昏睡を生じるおそれがあるので、母乳を与える女性は使用を避けるか、使用する際には授乳を避ける。
- c ヒスタミンの働きが抑制されて、眠気が促されるため、乗り物又は機械類の運転操作を避ける。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正

【問 8 6】 次の点鼻薬に使用される成分のうち、交感神経系を刺激して血管を収縮させることで、鼻粘膜の充血や腫れを和らげる目的のものはどれか。

- 1 リドカイン
- 2 クロモグリク酸ナトリウム
- 3 グリチルリチン酸ニカリウム
- 4 塩酸ナファゾリン

【問 8 7】 点眼薬について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 点眼薬は、通常、無菌的に製造されている。
- b 一度に 5 ~ 6 滴点眼した方が効果的である。
- c 点眼後は、目頭を軽く押さえると効果的である。
- d 別の人を使用している点眼薬を共用しても問題ない。

- 1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

【問 8 8】 点眼薬に使用されることがあるメチル硫酸ネオスチグミンの配合目的として、正しいものはどれか。

- 1 目の調節機能を改善する。
- 2 炎症を抑える。
- 3 結膜、角膜の乾燥を防ぐ。
- 4 目の痒み^{かゆ}を抑える。

【問 8 9】 外皮用薬としての殺菌消毒薬に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a アクリノールは、黄色の色素で一般細菌類の一部(連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌)に対する殺菌消毒作用を示すが、真菌、結核菌、ウイルスに対しては効果がない。比較的刺激性が低く、創傷患部にしみにくいが、衣服等に付着すると黄色く着色し、脱色しにくくなることがある。
- b 塩化ベンザルコニウムは、石鹼との混合によって殺菌消毒効果が低下するので、石鹼で洗浄した後に使用する場合には、石鹼を十分に洗い流す必要がある。
- c ヨウ素及びヨウ化カリウムをエタノールに溶解させたヨードチンキは、皮膚刺激性が弱く、粘膜(口唇等)や目の周りの部位にも使用できる。
- d オキシドールの殺菌作用は、過酸化水素の分解に伴って発生する活性酸素による酸化及び発生する酸素による泡立ちによる物理的な洗浄効果であるため、作用の持続性があり、組織への浸透性も高い。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

【問 9 0】 外皮用剤に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a イオウは角質層のケラチンを変質させて角質軟化作用を示すが、にきび用薬には使用されない。
- b にきびに使用するサルファ剤は、細菌のDNA合成を阻害することによる抗菌作用を示す。
- c うおのめやたこに使用するサリチル酸は、角質成分を溶解することにより角質軟化作用を示す。
- d 白色ワセリンは、角質層の水分保持量を高め、皮膚の乾燥を改善することを目的として用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	正	正	正

【問9 1】 みずむしとその治療薬に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a みずむしは、皮膚糸状菌（白癬菌）という真菌類の一種が皮膚に寄生することによって起こる表在性真菌感染症である。
- b 爪に発生する白癬（爪白癬）は、一般用医薬品である抗真菌薬を使用すれば、爪内部に容易に浸透し、治癒できる。
- c 湿疹とみずむしの初期症状は類似しているため、抗真菌薬を使用すれば、どちらの症状であっても治癒できる。
- d イミダゾール系抗真菌薬は、皮膚糸状菌の細胞膜を構成する成分の産生を妨げたり、細胞膜の透過性を変化させることにより、その増殖を抑える。

1 (a、 c) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (b、 d)

【問9 2】 頭皮・毛根に作用する成分に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 塩化カルプロニウムは、抗菌、抗炎症を期待して配合されている。
- b 安息香酸エストラジオールは、男性ホルモンによる脱毛抑制効果を期待して配合されている。
- c ヒノキチオールは、抗菌、血行促進、抗炎症などの作用を期待して配合されている。
- d カシュウは、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除くことを期待して配合されている。

1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

【問9 3】 外用薬としての歯痛薬又は歯槽膿漏薬に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 歯痛薬に含まれるアミノ安息香酸エチルは、局所麻酔として痛みを鎮めることを目的として用いられる。
- b 歯痛薬に含まれるフェノールは、むし歯を生じた部分の細菌の繁殖を抑える目的として用いられる。
- c 歯槽膿漏薬に含まれているグルコン酸クロルヘキシジンは、歯肉溝での細菌の繁殖を抑えることを目的として用いられる。
- d 歯槽膿漏薬に含まれているグリチルリチン酸二カリウムは、組織修復を促す目的として用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正

【問9 4】 咀嚼剤である禁煙補助剤に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ニコチン置換療法は、ニコチンの摂取方法を喫煙以外に換え、離脱症状の軽減を図りながら徐々に摂取量を減らし、最終的にニコチン摂取をゼロにする方法である。
- b 炭酸飲料を飲んだ後に使用しても、ニコチンの吸収に影響はない。
- c 喫煙を完全に止めたとえ使用することとされており、特に、使用中又は使用直後の喫煙は、血中ニコチン濃度が急激に高まるので、避ける必要がある。
- d 口内炎や喉の痛みの副作用はあるが、心臓疾患や胃潰瘍の薬との相互作用はない。

1 (a、 b) 2 (a、 c) 3 (b、 d) 4 (c、 d)

【問9 5】 次の記述は、あるビタミンを、過剰に摂取した場合に起こりうる症状である。()の中に入れるべき字句について、最も適するものはどれか。

()の過剰症は、高カルシウム血症が知られており、自覚症状がないこともあるが、初期症状としては、便秘、吐き気、嘔吐、腹痛、食欲減退、多尿等が現れる。

- 1 ビタミン B 12
- 2 ビタミン D
- 3 ビタミン E
- 4 ビタミン B 1

【問 9 6】 次の記述のうち、漢方処方製剤「^{おうれいげどくとう}黄連解毒湯」に関する最も適切なものはどれか。

- 1 比較的体力があり、のぼせがみで顔色が赤く、いらいらする傾向のある人における、鼻出血、不眠症、ノイローゼ、胃炎等の症状に適するとされる。
- 2 比較的体力があり、便秘がちな人における胃炎、高血圧における肩こり、頭痛等に使用される。構成生薬としてダイオウを含む。
- 3 色白で疲れやすい人の、肥満症、関節痛等に適する。
- 4 腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちな人におけるむくみ、高血圧における肩こり等に適し、構成生薬としてカンゾウやマオウを含む。

【問 9 7】 生薬成分に関する次の記述について、() の中に入れるべき正しい字句はどれか。

() は、心筋の収縮力を高めて血液循環を改善する作用を持つ。そのままでは毒性が高いことから、その毒性を減らし有用な作用を保持する処理を施して使用される。

- 1 サイコ 2 サンザシ 3 ブシ 4 レンギョウ

【問 9 8】 衛生害虫や防除に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 「ハエ」は、赤痢菌やチフス菌等の病原菌を媒介することがある。ハエの防除の基本は、ウジの防除であり、有機リン系成分が配合された殺虫剤が用いられる。
- b 「蚊」は、日本脳炎やマラリアなどの重篤な病気を媒介することがあり、水のある場所に産卵し、幼虫（ボウフラ）となって繁殖する。水系に殺虫剤を投入する場合は、生態系に与える影響を考慮する必要がある。
- c 「ゴキブリ」の防除は、殺虫剤の燻蒸処理を一夜行えば、ゴキブリの卵も含めて殺虫効果が期待できる。
- d 「シラミ」の防除は、散髪や入浴、衣服の熱湯処理などの物理的方法以外に、ディートが配合されたシャンプーも用いられる。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	誤

【問 9 9】 公衆衛生用の殺菌消毒薬に関する次の記述に該当するものとして、最も適切なものはどれか。

強い酸化力により一般細菌類、真菌類、ウイルス全般に対する殺菌消毒作用を示すが、皮膚への刺激性が強い。酸性の洗剤と反応して有毒なガスを発生する。また、漂白作用があるため、衣類等への使用は注意が必要である。

- 1 イソプロパノール
- 2 クレゾール石鹼
- 3 グルコン酸クロルヘキシジン
- 4 次亜塩素酸ナトリウム

【問 1 0 0】 一般用検査薬に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 通常、尿は弱アルカリ性であるが、食事その他の影響で酸性側に傾くと、尿糖、尿蛋白の検査薬では正確な検査結果が得られなくなることがある。
- b 尿糖、尿蛋白の検査薬は、尿中の糖や蛋白質の有無を調べて日常における自らの体調をチェックすることを目的としており、その結果をもって直ちに疾患の有無や種類を判断することはできない。
- c 妊娠検査薬は、尿中のヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）の有無を調べるものであり、月経予定日が過ぎて1週目以降の検査が推奨される。
- d 経口避妊薬を服用している人以外では、妊娠していないのに尿中 hCG が検出されることはない。

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

医薬品の適正使用と安全対策（20問）

【問101】 一般用医薬品の添付文書の記載事項である使用上の注意「してはいけないこと」に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 守らないと症状が悪化する事項、副作用又は事故等が起こりやすくなる事項について記載されている。
- b 医療機関で治療を受けている人が、治療のために処方された医薬品の使用を自己判断で控えることができるように、「本剤を使用（服用）している間は、次の医薬品を使用（服用）しないこと」の項に「医療機関で処方された医薬品」として記載されている。
- c 小児用のかぜ薬には、飲酒や車の運転に関する記載を省略できる。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正

【問102】 一般用医薬品の添付文書の記載に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 販売名が記載されている上部に、「使用にあたって、この説明文書を必ず読むこと。また、必要なときに読めるよう大切に保存すること。」等の文言が記載されている。
- b 「製品の特徴」は、医薬品を使用する人に、その製品の概要を分かりやすく説明することを目的として、効能・効果、用法・用量又は成分・分量等からみた特徴が記載されることがある。
- c 「使用上の注意」は、「してはいけないこと」、「相談すること」及び「その他の注意」から構成され、適正使用のために重要と考えられる項目が後段に記載されている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

【問103】 一般用医薬品の添付文書の記載に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 漢方処方製剤の中には、ある程度の期間継続して使用されることにより効果が得られるとされているものがあり、長期連用する場合には、専門家に相談する旨が記載されている。
- b 副作用については、まず一般的な副作用について発現部位別に症状が記載され、そのあとに続けて、まれに発生する重篤な副作用について副作用名ごとに症状が記載されている。
- c 医薬品の薬理作用等から予想される身体への影響であって、容認される軽微なものがある場合には、「次の症状が現れることがあります」として記載されている。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

【問104】 一般用医薬品の保管及び取扱い上の注意に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 小児は好奇心が強く、すぐ手を出して口の中に入れることがあるので、小児が容易に手に取れる場所に保管する場合には、医薬品と認識できない容器に移し替えて保管する。
- 2 勤め先に携帯する場合、別容器に移し替えて保管するほうが、品質保持の意味からも望ましい。
- 3 シロップ剤を長期保管する場合には、冷凍庫内での保管が望ましい。
- 4 錠剤を冷蔵庫内で保管する行為は、取り出したときに室温との急な温度差で湿気を帯びるおそれがあるため不適當である。

【問105】 使用期限の表示に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

使用期限の表示については、適切な保存条件の下で製造後(a)年を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品において法的な表示義務はないが、流通管理等の便宜上、外箱等に記載されるのが通常となっている(配置販売される医薬品では、「配置期限」として記載されている。)表示された「使用期限」は、(b)で保管された場合に品質が保持される期限である。

	a	b
1	1	開封状態
2	1	未開封状態
3	3	開封状態
4	3	未開封状態

【問106】 緊急安全性情報に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品又は医療機器について重要かつ緊急な情報伝達が必要な場合に、都道府県からの指示に基づいて、製造販売元の製薬企業から情報伝達されるものである。
- b 製造販売元の製薬企業等からその医薬品又は医療機器を取り扱う医薬関係者に対して、4週間以内に原則として直接配布される。
- c A4サイズの黄色地の印刷物で、ドクターレターとも呼ばれる。
- d 医療用医薬品や医家向けの医療機器について伝達される情報なので、一般用医薬品には適用されない。

1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

【問107】 添付文書情報に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品の外箱を開封しないで添付文書を閲覧する方法として、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医薬品医療機器情報提供ホームページ」を活用できる。
- b 製薬企業によっては、自社製品について添付文書集を作成し、医薬関係者に提供している場合もあるので、製薬企業に問い合わせして取り寄せることもできる。
- c 購入者等が一般用医薬品に抱く疑問等に対する答えは、添付文書に記載されていることは少ないので事前に添付文書情報を入手する必要性はない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正

【問108】 次の医薬品のうち、その主成分が配合されていることによって、医薬品の添付文書の「してはいけないこと」の欄に、「口の中に傷やひどいただれのある人に使用しないこと」と注意を求めているものはどれか。

- 1 グルコン酸クロルヘキシジン^{そう}を含有する含嗽薬
- 2 ジプロフィリンを含有する鎮咳去痰薬^{たん}
- 3 アズレンスルホン酸ナトリウム^{くういんこう}を含有する口内炎薬
- 4 キキョウを含有する口腔咽喉薬

【問109】 次の成分のうち、その成分が主として含まれることによって、医薬品の添付文書の「してはいけないこと」の欄に、外国において、ライ症候群の発症との関連性が示唆されているため「15歳未満の小児に服用させないこと」と注意を求めているものはどれか。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 イブプロフェン
- 3 アスピリン
- 4 インドメタシン

【問110】 次の成分のうち、その成分が主として含まれることによって、医薬品の添付文書の「相談すること」の欄に、中枢神経系の興奮作用により、てんかんの発作を引き起こすおそれがあるため「てんかんの診断を受けた人」と記載して注意を求めているものはどれか。

- 1 塩酸ジフェンヒドラミン
- 2 塩酸メチルエフェドリン
- 3 ジプロフィリン
- 4 マオウ

【問111】 医薬品の安全対策に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 世界保健機関（WHO）加盟各国を中心に、各国自らが医薬品の副作用情報を収集、評価する体制であるWHO国際医薬品モニタリング制度が確立されている。
- b 現在、わが国では、医薬品の安全対策として、医薬品の市販後に副作用等を収集する制度はあるが、それを評価する体制は整っていない。
- c 医薬品の副作用等の報告について、製薬企業からだけでなく、登録販売者を含む医薬関係者からも求めているのは、この者が副作用等を疑う事例に直接に接する可能性が高いからである。
- d 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度は、登録販売者を含む医薬関係者が保健所へ副作用報告を行う制度である。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| 2 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |

【問 1 1 2】 製薬企業からの副作用の報告制度に関する次の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 製薬企業が、医薬品の品質、有効性及び安全性に関する必要な情報を収集し、また、医薬関係者に必要な情報を提供することは、医薬品の適正な使用を確保する観点から重要である。
- b 製薬企業は、自らが製造販売した医薬品について、その副作用によるものと疑われる健康被害の発生を知った場合には、その副作用症例を厚生労働大臣に報告する義務がある。
- c 製薬企業は、医薬品によるものと疑われる副作用症例の発生を知りえた場合には、必ず30日以内に、厚生労働大臣に報告しなければならない。
- d 製薬企業は、医薬品によるものと疑われる副作用症例・感染症の発生傾向が著しく変化したことを示す外国での研究報告を知りえた場合には、厚生労働大臣に報告する必要はない。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正

【問 1 1 3】 次の記述について、()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

新一般用医薬品のうちダイレクトOTCについて、承認後の安全対策につなげるため、10年を超えない範囲で厚生労働大臣が承認時に定める一定期間、承認後の使用成績等を製造販売元の製薬企業が集積し、厚生労働大臣へ提出する制度を()制度という。

- 1 再承認
- 2 再評価
- 3 再申請
- 4 再審査

【問 1 1 4】 次の記述のうち、医薬品等による副作用等が疑われる場合の、医薬関係者の報告の仕方として適当でないものはどれか。

- 1 保健衛生上の危害の発生または拡大を防止するためとの趣旨に鑑^{かんが}みて、医薬品によるものと疑われる、身体の変調について報告を行った。
- 2 無承認無許可医薬品又は健康食品によると疑われる健康被害について、最寄りの保健所に連絡した。
- 3 日常生活に支障を来す健康被害が発生したが、使用した医薬品との因果関係が明らかでなかったため、報告を行わなかった。
- 4 一般用医薬品を誤って過量使用したことによるものと思われる健康被害であったが、安全対策上必要と考えられたので、報告を行った。

【問 1 1 5】 次の記述のうち、医薬品副作用被害救済制度の救済給付の対象となるものはどれか。

- 1 医薬品の製造販売業者の損害賠償責任が明らかな場合
- 2 健康被害の程度が、入院治療を必要と認められる場合であって、やむを得ず自宅療養を行った場合
- 3 個人輸入により入手した医薬品による健康被害が生じた場合
- 4 一般用検査薬による疾病や障害が生じた場合

【問 1 1 6】 医薬品副作用被害救済制度に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 救済給付を受けることができる人が未請求のまま死亡してしまった場合は、死亡した人の遺族であっても給付を受けることができない。
- 2 医薬品の副作用であるかどうか判断がつかい兼ねる場合には、給付請求を行うことができない。
- 3 障害年金には、請求期限が定められていない。
- 4 給付の種類には、葬祭料は含まれない。

【問 1 1 7】 医薬品副作用被害救済制度に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品を適正に使用したにもかかわらず健康被害が発生し、かつ、製薬企業に損害賠償責任がない場合には、医薬品PLセンターによる救済の対象になる。
- 2 健康被害を受けた本人から給付請求を受けた都道府県知事は、医薬品が適正に使用されたかどうかなど医学的薬学的判断を要する事項について判定する。
- 3 救済給付業務に必要な費用は、製薬会社等から年度ごとに納付される拠出金のほか、国からの補助金により賄われている。
- 4 一般用医薬品の使用による副作用被害への救済給付の請求に当たっては、医薬品の販売業者等が作成した販売証明書があれば、医師の診断書の添付は要さない。

【問 1 1 8】 次の記述は、一般用医薬品の安全対策に関するものである。() 内に入るべき字句の正しい組み合わせはどれか。

小柴胡湯しょうさいことうによる間質性肺炎は、1991 年 4 月以降、使用上の注意に記載されていたが、その後、小柴胡湯しょうさいことうと(a) 製剤との併用による間質性肺炎が報告されたことから、1994 年に併用を禁忌とする旨の使用上の注意の改訂がなされた。しかし、それ以降も(b) 患者が小柴胡湯しょうさいことうを使用して間質性肺炎を発症し、死亡を含む重篤な転帰に至った例もあったことから、1996 年、厚生省(現在の厚生労働省)より関係製薬企業に対して(c) が指示された。

	a	b	c
1	インターフェロン	慢性肝炎	緊急安全性情報の配布
2	インターフェロン	急性腎不全	製品の回収
3	抗ヒスタミン	急性腎不全	緊急安全性情報の配布
4	抗ヒスタミン	慢性肝炎	製品の回収

【問 1 1 9】 次の記述は、一般用医薬品の安全対策に関するものである。() 内に入るべき字句の正しい組み合わせはどれか。

(a) 含有医薬品については、2000 年 5 月米国において、食欲抑制剤として使用した場合に、出血性脳卒中の発生リスクとの関連性が高くなると報告された。日本において(a) 含有医薬品は食欲抑制剤として承認されていないが、(a) が配合された一般用医薬品による脳出血等の副作用症例が複数報告され、それらの多くが用法・用量の範囲を超えた使用又は禁忌とされている(b) 患者の使用によるものであった。そのため厚生労働省は、関係製薬企業等に対して、使用上の注意の改訂等を行うとともに、代替成分として(c) への切替えについて指示を行った。

	a	b	c
1	塩酸フェニルプロパノールアミン	高血圧症	塩酸プソイドエフェドリン
2	塩酸フェニルプロパノールアミン	糖尿病	塩酸プソイドエフェドリン
3	塩酸プソイドエフェドリン	高血圧症	塩酸フェニルプロパノールアミン
4	塩酸プソイドエフェドリン	糖尿病	塩酸フェニルプロパノールアミン

【問 1 2 0】 次の啓発活動に関する記述について、該当する運動名を選びなさい。

「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」を広く普及させ、薬物乱用防止を一層推進するため、毎年 6 月 20 日～7 月 19 日までの 1 ヶ月間、国、自治体、関係団体等が実施する啓発活動

- 1 麻薬・覚せい剤乱用防止運動
- 2 薬物乱用撲滅運動
- 3 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
- 4 医薬品適正使用推進運動